

令和4年度学校だより

NO.11 R5. 3. 15

こすもす

上田市立城下小学校

1年間、ありがとうございました

明日はいよいよ令和四年度卒業証書授与式です。6年生の子ども達がこの城下小学校を巣立ちます。希望に満ちた子ども達を温かく送り出したいと思っています。

1年間、保護者の皆様、地域の皆様には様々な面でご支援ご協力をいただきありがとうございました。コロナ禍ではありましたが、充実した学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

3 学期終業式 ～校長先生のお話～

「人生の節目」～抜粋～

「節目」という言葉には、「木材や竹の、節のあるところ」また、比喩的に「物事の区切りとなる（大事な）ところ」という意味があります。

大空に向かってすくすくと伸びる竹、中には一日で1mも伸びることがあるそうです。竹にはいくつもの節があり、その一つ一つの節に竹を成長させる力があると考えられています。タケノコには沢山の線が刻まれています。この線一つ一つが節であり、竹の一生の節の数はタケノコの折に決まっていると言われています。ですから「節」の中にいかにエネルギーを蓄えているかで成長の様子が異なるものと考えられます。

「人生の節目」という言葉を聞いたことがある人もいられるかもしれません。私たちの先人は、昔からこの節目を人生や人の一生に例えて生活してきました。

皆さん、4月からは、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、5年生は最高学年である6年生に進級します。そして6年生は中学生に進学します。まさに人生の節目ですね。これらの節目は、皆さんの年齢と共に、あらかじめ用意されていたものかもしれません。しかし、節目の中に蓄えられたエネルギーによっては、新たなステージの成長が大きく異なるものと思います。

皆さんは自分の人生の節目の中に何を蓄えますか。まずは今年一年間の自分の歩みを振り返ってみてください。勉強に頑張ったこと、悔しかったこと… 友達や仲間との関りにおいて嬉しかったこと、悲しかったこと… 家に帰ってからの家族との関り… 地域の方々との関り… 等等。これらをしっかりと振り返り、考え受け止めること。これらは「節目」における大きな土台となります。そしてもう一つ、それは新しい学年やステージへの希望や期待です。新たな学年やステージで生活する自分を想像してみてください。なんだかワクワクしませんか。新しい勉強にチャレンジしている私、新たな出会いに胸を膨らませる私、友だちや仲間との関りを深めている私、具体的に「〇〇を頑張りたい」と考えることもありますよね。もちろん「不安」を感じる人もいるかと思いますが。大丈夫、先ほどお話しした今年の「土台」があります。支えてくれる友達、おうちの方、先生もいます。これら希望や期待は「節目における」強力なバネになります。この「土台」と「バネ」が、人生の節目をよりエネルギーの蓄えられた力強い「節目」にします。中にはすでに節目がはじけるくらいにウズウズしている人もいるのではないのでしょうか。

健康や安全に留意して素敵な春休みにしてください。

別所小旅行～6年～

3月2日（木）5年生の時に行けなかった別所線の旅に学年で出かけてきました。別所線に揺られ別所の街を散策したり足湯につかったりお参りしたり…卒業間近の記念旅行になりました。



令和4年度 転退職員

令和4年度末の人事異動により、11名の職員が城下小学校を離れることになりました。本日離任式において児童とお別れをしました。

ホームページ公開用のため
加工してあります



新児童会スタート
6年生から5年生へと引き継がれた児童会は、3年生が新たに加わり、新体制でスタートしました。よい緊張感に包まれました。



城下あいさつ声かけ運動
今年度3回目の城下あいさつ声かけ運動。早朝から地域の方、5年児童が登校してくる児童に元氣な挨拶を送りました。



卒業制作 6年生
卒業制作として木彫「浮き彫り」に挑戦しました。彫刻刀を上手に動かして思い思いの作品を仕上げました。



5. 6年で逃走中!
PTAと児童会とのコラボ企画で行うはずだった逃走中。素晴らしい企画をそのままやるのはもったいない! ということで、5、6年生で実施しました。

100万回伝えたい言葉は 「6年生、ありがとう」



3月8日(水) 6年生を送る会が行われました。6年生から城下小学校を引き継いだ5年生が中核となり、会を企画運営しました。1年生から5年生までの6年生に向けた感謝の気持ちがあふれる会でした。そして巣立ちゆく6年生が下級生を思い、城下小学校を大切に感じていることも伝わってきました。素敵な時間でした。6年生、中学に行っても頑張ってください!!



(文責：教頭 菊池陽子)